

【社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻】

社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻で取得できる教員免許状の種類

| 学 科 | 専 攻 | 取得できる教員免許状 | |
|--------|--------|-------------|----|
| 社会福祉学科 | 社会福祉専攻 | 中学校一種免許状 | 社会 |
| | | 高等学校一種免許状 | 公民 |
| | | | 福祉 |
| | | 特別支援学校教員免許状 | |

社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻が目指す教師像

社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻では「同朋大学における教員養成の理念と目的」(前掲)に重点を置きながら、専攻独自の教育理念を活かしつつ、特に次のような教員の養成を目指します。

1. 本当の福祉とは何か、「生きる意味」を追求する教師。

真宗・仏教の哲学を基盤に人々の幸せに貢献できる福祉の精神と専門的知識を身につけ、日本だけでなく幅広い国や地域など広い視野から人間の福祉を考察する。そうした広い視野で「生きる意味」を捉えながら実践に活かすことができる、学校での福祉教育のリーダー・エキスパートとして活躍できる教師の育成を目指します。

2. 総合的な知識を身につけ、社会福祉の視点にたった指導や援助ができる教師。

哲学、社会制度・政策、保健・医療、国際関係、ボランティア、環境などの専門分野を体系的に学びながら、「人間とは何か」「人間としてどう生きるのか」といった人間と福祉の関係性や健全な社会を形成するあり方を探求する、人間力のある教師の育成を目指します。

3. 福祉実践基礎力を基盤に、個性を尊重し、かつ周囲の人々と協働・連携ができる教師。

「仏教精神・社会福祉を基盤とした真のリベラル・アーツの実現」を教育の根幹とする社会福祉専攻における学びを通して、福祉・教育従事者として学ぶ必要のある福祉実践基礎力(「心が動く力」「じっくり考える力」「共に生きる力」)の向上を目指し、現場において自立・独立しつつも、周囲の人々との協働・連携ができる教師の養成を目指します。

社会福祉学部社会福祉専攻における教員養成の目標を達成するための教育計画

・専攻共通事項

総合的・学際的カリキュラム

宗教学、哲学、倫理学、法学、歴史学、心理学、教育学、地理学、社会学、環境学といった隣接する学問領域に加え、生活と福祉、ソーシャルワーク理論、社会福祉基礎演習などの専門基礎科目と連携して、総合的・学際的な視点で学びを進めます。

確実に学びを深める系統的カリキュラム

各専攻の基礎科目・教養共通科目の上に、専門基幹科目である障害者福祉論、高齢者福祉論、社会保障論、社会理論と社会システムなどを系統的に履修し、教職課程に必要な教育原理、教育心理学、教育制度論、教育方法・課程論などの教職の意義に関する科目や教科の基礎理論に関する科目を学び進めます。

指導力を重視したカリキュラム

特別支援教育領域や社会福祉学に関する基礎理論や生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目である教師論、各教科教育法、道徳教育研究、特別活動研究、教育相談、臨床心理学などを学び、これまでの講義で得た理論を介護等体験、ボランティア活動、学外活動等の様々な実践を通じて深く身につけます。

教育現場と連携した実践的カリキュラム

様々な実践を通じてより深く身につけるために、授業見学や教育実習という学外での実習が可能なプログラムを実施します。

4年間を通じた少人数教育

1回生から4回生まで小集団科目を中心に実施することで、学生一人一人へのきめ細かな指導を行います。また、「履修カルテ」やポートフォリオの活用によって、それぞれの学びの成果を確認しながら教員養成における教育の質の向上に取り組んでいます。